

# NEWS LETTER



京都教育大学  
附属教育実践センター機構

Kyoto University of Education  
Organization of Educational Research and Practice Centers

第20号(2014.9.25)

教育支援センター

Educational Support Center

<http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

## 京都市立凌風学園 学園生リーダー講習会について(報告) (西井薫)

- 日時 : 平成26年8月19日(火) 9時20分~15時40分
- 場所 : 附属教育実践センター機構棟 未来教室対応・高度化授業研究室
- リーダー講習会の目的
  - ・児童生徒会活動の中心となる集団の確立を目指し、リーダーとしての意識を高める。
  - ・大学での様々な活動を通して、今後の児童生徒会活動につなげる。
- テーマ : よりよい学園づくりのためにリーダーとしてできることを考えよう ~誇れる学園とは何か~
- 参加者 : 50名(学園生34名、学園教員10名、支援センター1名、学生ボランティア5名)



京都市立凌風学園は、京都市南区東九条地域の3小学校と1中学が一つになって、小中一貫校として平成24年4月に開校されました。新設から3年目の学校ですが、8、9年生を中心に活発な児童生徒会活動に取り組んでいます。

本学でのリーダー講習会も今年で3回目です。今年度は「誇れる学園とは？」ということを中心に話し合ったり、話を聞いたりという時間をもちました。まずは、緊張感を解くためにゲームを通して交流しました。

次に、「誇れる」ということはどういうことだろうという問いを投げかけ、生徒たちは考えていきました。「好きになる、学校に行きたくなる、卒業しても自分の学校のことが話したくなる」など、いろいろな意見が出されました。そこで、現状把握という意味で、今の学校の現状と課題(プラス面、マイナス面)を個人と集団で考え分類していきました。それぞれのグループで話し合い、発表して課題がいろいろと見えてきました。

ここで、午前中の講習会を終了し、昼食は学生食堂に行きました。ここでは、生徒たちに「あなたは、自分の母校を誇りに思いますか」という内容のインタビューをしました。このインタビューを踏まえて、午後の講習会が始まりました。午後は、3人のボランティア学生が「誇れる学校」や「リーダーの資質について」を自分自身の経験から話しました。そして、まとめとして「誇れる学園にするための手だてやあこがれの存在としてのリーダー」について話しました。これらの話を参考にして、具体的に学校でどのように取り組んでいくのかについて話し合いました。短い時間でしたが、活発に意見を出し合い、いろいろな企画を出し合うことができました。

この講習会を通して、生徒たちのどうすれば「誇れる」学校にできるのかという真剣な思いと意識の高さを知ることができました。また、彼らなら学校を変えていくことができると感じられる真摯さとエネルギーを感じました。そして、ここまで生徒たちの自主性を伸ばしてきた凌風学園の教職員の熱い思いと努力に感銘を受けました。こういう教員を育てていく使命と必要性が本学にはあるのだと、改めて痛感しました。



## 幼児教育専攻学生によるboard deco



附属教育実践センター機構棟内ホワイトボードに、幼児教育専攻の学生が、かわいい季節の張り絵をしてくれています。

8月は、夜空に花火、9月は、お月見。楽しそうな動物たちが、附属教育実践センター機構棟に入ると直ぐに目に飛び込んできます。どうぞ、学生たちの力作を見に来館下さい。



## シリーズ「人権に基づく性教育」について（報告）

（関口久志）

平成26年7月5日（土）午後2時から2時間半にわたって、京都教育大学サテライト教室において、大阪医療センター医療社会事業専門員の竹花惇さんに「エイズを通してみえる世界」をテーマに、チェンマイ（タイ）で過ごした1年間の経験をふまえ、HIV/AIDS、セクシュアリティ、そして世界の中の日本についてお話しいただきました。

その報告の特徴は、薬害エイズについてもふれられていた点です。そのなかで、薬害エイズ訴訟の1996年3月の和解で、HIV医療体制の整備が約束され、そこに感染経路で区別しないという条件を入れたために、今の体制があることを確認しました。日本のHIV/AIDSの原点と言われながら、過去のこととされそうな『薬害エイズ』ですが、今につながることもある…と参加者は気づきました。

そして、HIV感染とエイズの発症が“死の病”とならなくなった今、新たに直面しているのが高齢化の問題に感染者が向き合うことになるということです。感染と介護…医療面だけでなく、ケアに関わることにも感染への理解を広げ、深めていくことが課題となっています。

他にも、十分な教育がなされないために感染者が増加していること、無関心であるためにエイズを発症して感染に気付く“いきなりエイズ”の存在、そして議会の席上でも発せられる同性愛者や感染者への差別。議会や国会が高い人権意識をもって運営されていないことが、最近のニュースから見て取れます。

これらが、今の日本のHIV/AIDSに関わる問題との報告でした。

竹花さんは、この4月から医療ソーシャルワーカーとして病院に勤めています。今まで以上にHIV/AIDSに専門的に関わるようになられました。だからこそ、みえてくる様々な事実と現実。体験に基づくお話も十分に興味深いものでしたが、客観的なデータや現実が実感として語られることによって、一層深みが増したように参加者は感じました。

参加者からは、「HIVを通してタイの現状やNGOの働きも知れて驚くことばかりでした。私も漠然と海外に行きたいという思いがあったのですが、もっと日本でできることを考えていきたいです。」との声も聞かれました。

## スクールボランティアについて

本センターでは、公立学校での学生ボランティア活動を実地教育の一環として積極的に推進し、現在、次の事業等の紹介やサポート活動を行っています。1)京都市教育委員会の「学生ボランティア・学校サポート事業」2)京都府内の小・中・高・支援学校等でのボランティア活動 3)大阪府内をはじめ他府県・他地域での公立学校のボランティア活動 4)大学訪問を希望する小中学生の大学内の施設案内や授業紹介など。これらのプログラムは教職をめざす学生の実践的指導力の育成に大いに役立っています。活動の詳細をお知りになりたい方は、本センターホームページをご覧くださいと思います。

### 【学生に周知していただきたいこと】

- ◎ 学生が公立学校等でボランティア活動をする場合、必ず「学校ボランティア活動 学生登録カード」に必要事項を記入し、ボランティアオフィス又は教務・入試課実地教育グループへ提出して下さい。学外の活動でも「学生教育研究 災害傷害保険」が適用されます。必要な場合には、「ボランティア証明書」を発行することが可能になります。
- ◎ ボランティアオフィスに来ると、様々な地域、時間帯、多様な学校ボランティアの紹介を受けられます。

ボランティアオフィス (旧 地域支援推進室) : 附属教育実践センター機構棟2階

Tel 075-644-8336 Email [sien@kyokyo-u.ac.jp](mailto:sien@kyokyo-u.ac.jp)

受付時間 月曜日・木曜日 11時～14時 金曜日 11時～15時

### 教育支援センター

センター長 (併任)	水山 光春	075-644-8281	<a href="mailto:mizuyama@kyokyo-u.ac.jp">mizuyama@</a>
教育実践連携部門	樋口とみ子	075-644-8337	<a href="mailto:tomiko@kyokyo-u.ac.jp">tomiko@</a>
実地教育部門 (特命教員)	西井 薫	075-644-8806	<a href="mailto:kaoru@kyokyo-u.ac.jp">kaoru@</a>
実地教育部門 (兼任)	小山 宏之	075-644-8281	<a href="mailto:koyama@kyokyo-u.ac.jp">koyama@</a>
モラル・人権意識向上教育部門	関口 久志	075-644-8326	<a href="mailto:sekihisaa@kyokyo-u.ac.jp">sekihisaa@</a>
特命教員 (京都市教育委員会)	池田 忠	075-644-8214	<a href="mailto:ikedaa@kyokyo-u.ac.jp">ikedaa@</a>
特命教員 (京都府教育委員会)	今野 勝明	075-644-8216	<a href="mailto:konnno@kyokyo-u.ac.jp">konnno@</a>

ボランティアオフィス 075-644-8336 (月・木 11時～14時、金 11時～15時) [sien@](mailto:sien@kyokyo-u.ac.jp)

運動部活動指導者育成室 075-644-8143 (月9時～12時半、火9時～16時、水10時～12時半、木9時～12時) [bukatu@](mailto:bukatu@kyokyo-u.ac.jp)

事務担当：研究協力・附属学校支援課 研究協力・センター機構支援グループ

TEL 075-644-8335、8118 (内線のみ) FAX 075-644-8339 E-mail [cert@kyokyo-u.ac.jp](mailto:cert@kyokyo-u.ac.jp)

